

須坂市教育委員会 6 月定例会 会議録

1 日 時 2024年 6 月28日（金）午後 1 時30分 ～午後 3 時30分

2 場 所 須坂温泉古城荘

3 出席した委員

教育長	勝山 幸則
教育長職務代理者	二ノ宮邦彦
教育委員	土屋 保男
教育委員	山下美知子
教育委員	村石 忍

4 説明のため出席した職員

教育次長	山岸 和美
学校教育課長	中村 健司
子ども課長	永井 隆広
人権同和教育課長	高橋 克彦
文化スポーツ課長	寺沢 隆宏
生涯学習推進課長	寺澤 勝志
主任指導主事	後藤 昭彦
指導主事	宮崎 健
指導主事	北村 雅
指導主事	松木 智子
指導主事	西原 秀明

5 事務局出席職員

庶務係長	山本 雅代
庶務係	返町 美里

6 本日の会議に付した事項

1 学校等の状況報告について

2 議題

議案第36号 2024年度須坂市奨学生の採否について

議案第37号 須坂市子ども・子育て会議委員の委嘱について

議案第38号 いきいき！職場改善支援事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱について

議案第39号 須坂市公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第40号 須坂市立博物館協議会委員の委嘱について

3 協議

4 一般行政報告

(1) 教育長出席行事の報告について

(2) 行事共催等承認の報告について

(3) その他

5 その他

(1) 教育委員会行事予定について

(2) 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について

(3) 中学生平和学習事業について

(4) 三浦市親善交流事業・式次第について

(5) 施設開放（子ども学習室）について

(6) 須坂市部活動地域移行推進計画について

(7) その他

教育長が開会を宣した。

1 学校等の状況報告について

教育長が説明を求め、主任指導主事が説明した。

- ・児童生徒数について、小学校・中学校ともに前年より2名増。
- ・学校事故の件数が多い。前年比で2倍となっている。
- ・不登校欠席状況について、昨年同期に比べると小学校が増加傾向。中学校については昨年と同数に近い。

- ・外国籍児童生徒の在籍数について、小学校と中学校あわせて34名。昨年に比べて7名増となっている。
- ・外国籍児童への日本語指導教員については、7校で10名入ってもらっている。
- ・ALTは全学校に配置。市内4名入ってもらっている。

2 議題

議案第36号 2024年度須坂市奨学生の採否について
教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

委員：

- ・奨学金の貸与希望者は増えているのか。

学校教育課長：

- ・昨年度は0名だったが、今年度は前期で3名の応募があった。人数としては減少傾向にある。秋にも募集をかける。

教育長：

- ・奨学金の原資はどのようなになっているのか。

学校教育課長：

- ・原資は基金の積み立て。積み立てた基金を取り崩して貸与している。奨学金は無利子。

教育長：

- ・償還状況はどうか。

学校教育課長：

- ・貸与した期間の3倍の期間内に償還となっているが、難しい方もなかにはいる。償還額を少額にし、期間を延ばすなどの対応をしている。

議案第37号 須坂市子ども・子育て会議委員の委嘱について

議案第38号 いきいき！職場改善支援事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱について

議案第39号 須坂市公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第40号 須坂市立博物館協議会委員の委嘱について
教育長が説明を求め、各課長が説明した。特に意見・質問無く、承認された。

3 協議

(1) 須坂市内の中学校でのスピーカー落下事故について

- ・教育長が説明した。

(2) 「安心してSOSが発信できる体制強化等のお願い」について

- ・教育長が説明した。

委員：

- ・部活の地域移行でハラスメントが起きることが心配。外部コーチをすべて教育委員会の管轄にすることはできないのか。

指導主事：

- ・社会体育については保護者会で頼んでいるコーチもいる。

教育長：

- ・学校で外部コーチが誰なのかは把握できるようにしている。校外での活動になると教育委員会に上がってきていないこともある。学校で部活動運営委員会を行う際外部コーチにも参加をお願いし、子どもたちへの暴言・体罰がないように指導している。外部での試合での時の様子がわからないことや、保護者会で頼んでいるため保護者から強く言えないこともある。部活動の地域移行の中で、そこはしっかり対策していく。

委員：

- ・外部コーチとSNSでやり取りをしているという話も聞く。中学生になるとSNSの利用も始まるため、子どもたち自身にもSNSとの付き合い方について指導することが必要だと思う。

教育長：

- ・そういった教育も非常に大切なこと。

(3) 「人権教育にかかわる先生方へ」について

- ・教育長が説明した。

主任指導主事：

- ・学校ですべてできるということには限界があると感じる。同和問題だけではなく、人種や学歴など、さまざまなことがある。どこまで教育で責任を持てるのか。自分自身がそのときどう考えるか。自分自身に問いかけることがある。

委員：

- ・自分では差別しないとどれだけ思っている、自分が教壇の上で使った言葉一つで人は傷つくかもしれない。非常に難しい問題だと思う。

教育長：

- ・差別は根拠がまったくない。社会の中で作られた差別意識であることを意識、自問しつづけなければいけない。

指導主事：

- ・当事者にとっては、差別についていい意味でも悪い意味でも、「関係ない」という言葉は非常に傷つく。一緒に考えてくれる存在が必要。

教育長：

- ・新しく須坂に赴任した教員の研修について、部落差別の実態を知ってもらうような内容のものも行いたい。

4 一般行政報告

(1) 行事共催等承認の報告について

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

- ・共催が1件、後援が14件。不承認が2件。

(2) その他

なし。

5 その他

(1) 教育委員会行事予定について

教育長が説明を求め、各課長が説明した。

(2) 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

(3) 中学生平和学習事業について

教育長が説明を求め、学校課長が説明した。

(4) 三浦市親善交流行事・式次第について

教育長が説明を求め、子ども課長が説明した。

(5) 施設開放（子ども学習室）について

教育長が説明を求め、生涯学習推進課長が説明した。

教育長：

- ・学校の対応はどのようなになっているのか。

教育次長：

- ・子どもたちが下校途中に行くことができないならば、開放しても使えないのではないかという意見もあるが、学校では下校時刻を定めて寄り道せず帰るよう指導している。また、登下校に限ってスポーツ保険に加入している。下校時刻を過ぎても帰ってこないことで学校へ問い合わせが入る可能性もある。保護者の理解も含めて、開放施設を子どもたちが使うための仕組みづくりを進める必要がある。

教育長：

- ・子どもたちの登下校の安全のために学校は寄り道をしないよう指導しているが、放課後の子どもたちの居場所づくりや学習支援のために利用できる

よう進めていきたいが、学校に負担がかからないようにしなければならない。

指導主事：

- ・子どもたちの第3の居場所として公民館を活用することは考えているか。

教育次長：

- ・学校へきちんと話をしたうえで、不登校の子どもたちの居場所になれば喜ばしい。

(6) 須坂市部活動地域移行推進計画について

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

指導主事：

- ・対象がすべての中学生となっているが、市外の中学生も対象となるのか。

学校教育課長：

- ・基本的には須坂市の中学生を対象としている。種目によっては近隣地域にも対応できるようなものにしたい。

教育長：

- ・地域によって差はあるが、近隣の地域からいい選手を集める、というような内容になってしまうと地域移行の趣旨からは外れてしまう。今後話題に上がってくると思うがきちんと話をしていきたい。

(7) その他

- ・「2023年度 人権教育啓発標語募集」について、人権同和教育課長が説明した。
- ・教育長がクマの出没対応について学校教育課長に説明を求め、学校教育課長が説明した。

教育長が閉会を宣した。